

品目情報

- 販 売 名：ラミクタール錠小児用 2mg、同錠小児用 5mg、同錠 25mg、同錠 100mg
- 一 般 名：ラモトリギン
- 製造販売業者：グラクソ・スミスクライン株式会社
- 効能・効果：
 - てんかん患者の下記発作に対する単剤療法
 - 部分発作（二次性全般化発作を含む）
 - 強直間代発作
 - 他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の下記発作に対する抗てんかん薬との併用療法
 - 部分発作（二次性全般化発作を含む）
 - 強直間代発作
 - Lennox-Gastaut 症候群における全般発作
 - 双極性障害における気分エピソードの再発・再燃抑制
- 製造販売承認日：平成 20 年 10 月 16 日
- 販 売 開 始 日：平成 20 年 12 月 12 日
- 推定使用患者数：約 37.6 万人（販売開始～平成 26 年 12 月 31 日）
- ラモトリギンは、脳内の神経の過剰な興奮をしずめて、てんかん発作を抑える。また、双極性障害における気分の変動を抑える。
(ナトリウムチャンネルを頻度依存的かつ電位依存的に抑制することによって神経膜を安定化させ、グルタミン酸等の興奮性神経伝達物質の遊離を抑制する。)
- 主な重篤な皮膚障害：
 - 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson Syndrome : SJS) :
発熱を伴う口唇、眼結膜、外陰部などの皮膚粘膜移行部における重症の粘膜疹および皮膚の紅斑で、しばしば水疱、表皮剥離などの表皮の壊死性障害を認める。
 - 中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) :
広範囲な紅斑と、全身の10%以上の水疱、表皮剥離・びらんなどの顕著な表皮の壊死性障害を認め、高熱と粘膜疹を伴う。
 - 薬剤性過敏症症候群 (Drug-induced Hypersensitivity Syndrome : DIHS) :
高熱と臓器障害を伴う薬疹で、比較的限られた医薬品が原因となり、医薬品中止後も遷延する。